

令和4年5月26日

全国大会南島原市予選大会における新型コロナウイルス感染症及び熱中症予防について

南島原市小学生バレーボール連盟

1 開会式について

口之津小会場：ネットを挟んで3チームずつに分かれる。

加津佐小会場：開会式はなし。

2 チーム関係者（選手・保護者・ベンチスタッフ）が会場に入場できない場合

(1) 本人が感染した場合

(2) 本人が保健所や医師の勧めでPCR検査等を受け、判定待ちの場合

(3) 本人が「濃厚接触者」の場合

(4) 本人の同居家族がコロナ関連の検査で陽性判定が出た場合、または、病名が特定できない発熱が出た場合（医師の診断を受けていない場合）

(5) 本人が所属する学級が新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖や学校が臨時休業になった場合。

(6) 選手が所属する学校の校長から大会出場自粛の要請があった場合。

3 大会当日朝まで

チーム関係者（選手・保護者・ベンチスタッフ・同居家族）に新型コロナウイルス感染者が出た場合は、次のような対応をとり、南小連（中尾）まで報告すること。

(1) 感染拡大の可能性がある場合

・チーム内で検討し、参加の可否を決定する。

(2) 上記のことを受け、大会に出場する場合

・会場に入場する全てのチーム関係者は、抗原検査、または、PCR検査を受け、陰性を確認してから出場する。

4 試合中

○ 選手は、試合前練習、公式練習、試合中はマスクを外してもよい。ただし、試合中ベンチ、または、ウォームアップゾーンにいる選手はマスクを着用する。（息苦しさを感じた場合や熱中症の心配がある場合はマスクを外してもよい。）

○ チェンジコートはしない。

○ 挨拶はエンドラインで行い、握手はしない。

○ 公式練習は、3分ずつ別々に行う。

○ テクニカルタイムアウト（1、2セット：7点と14点／3セット：8点）実施。

この時に、副審がボールの消毒をする。

- 公式記録用紙を使用する。
- 消毒用アルコール、ウエットティッシュなどは各チームで準備し、活用する。

5 試合後

- 記録席の消毒は、記録を担当した選手で行う。
- ベンチの消毒は、使用したチームで行う。
- 試合後は、選手は必ず手洗い、うがいをする。
- 体育館内では原則としてマスク着用（応援の保護者・ベンチ外の選手にも適用）
- 選手の持ち物は、各自で持ち運びする。
- 試合がないときは、スタッフ、選手以外は会場の外に出る。
- 昼食時は、選手のお世話を保護者が体育館に入ることができる。
- 応援は、声を出さず拍手のみ。

6 その他

- 応援の人数は、チームに15人までとする。
(ベンチ入りできなかったチームメンバーや乳幼児はこの人数に含まない)